



2006 ~ 2007 年度  
R I テーマ

# LEAD THE WAY 率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム B. ボイド (国籍・ニュージーランド)

2720 地区

## 別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分  
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間  
TEL 23-1111  
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F  
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000  
FAX (0977) 23-9019  
http://www.beppu4rc.jp/chuo/  
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	鳴海淳郎	理事	後藤 隆	役員	会 長	上妻 浩	S A A	木村きぬ系
"	村津忠久	"	葉真寺章三		副会長	森 宗明	直前会長	平野英壽
"	溝部 仁				幹 事	近藤賢司		
"	梅津ヤヨイ				会 計	上妻 浩		

VOL . 19 - 25  
2007 年 1 月 16 日

## 第 850 回 例 会

会報委員長 津末美代子

点 鐘 12:30  
体 操 自律神経強化体操  
R S 別府中央R.C.の歌  
唱 歌 雪  
B .G .M 「日本フィルできく  
美しい日本のうた」から  
この道  
ふじの山  
かなりや 他  
ゲ ス ト ドプロボリスカヤ・アンナさん  
(米山奨学生)

会長の時間 会長 上妻 浩

この時間はずっとロータリーに関する話を話してきましたが今日は少し種も尽きた感じですので個人的な話をさせていただきます。

昨年6月母が亡くなる前後、病院への泊り込みと暦の関係で通夜が2日間になったので、一週間近く本それも持ち運びし易い文庫本を読まざるを得ない状況になりました。

それで母の愛読書の一つで、家内も面白いといっていた内田康夫という作家の推理小説を読むことにしました。これは100以上ある作品の内90%程度に浅海光彦という名探偵が登場し、テレビ作品にもかなりなっていますのでご存知の方もいると思います。その殆んどを昨年末までに読了しました。120~30冊位だったと思います。その後、今年から塩野七生さんの「ローマ人の物語」を読み始めました。これは15年前からハードカバーは年一冊のペースで発行され昨年完了した活躍する人物(今まで読んだ所までで特に有名な人物について詳しく触れているのはカルタゴの名将ハンニバル、そしてジュリアス・シーザーに入った所で

### 出席報告

委員長 高宮 勝美

本 日	会 員 総 数	24 名
	出 席 者	15 名
	事前メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	1 名
出 席	出 席 免 除	1 名
	欠 席 数	5 名
	出 席 率	68.18 %
前 々 回 の 訂 正	出 席 率	78.26 %
	事後メイクアップ	3 名
	理 事 会 承 認	1 名
	出 席 免 除	1 名
12/19	修 正 出 席 率	91.30 %

連 続 - 回

通 算 - 回 100 %

### ・メイクアップ

事前 桜田、河村(別府北)

事後

欠席 平野、木村、小川、大島、津末

す)を中心にローマの歴史を描いた物語です。私はその文庫版を買って読んでいます。まだ全部は発行されていませんが、35冊位だろうと思います。これは仕事その他に生かせる教材とも云えるもので面白く読めて勉強にもなります。この時間にももう2回位は取り上げたいと思っています。

### 幹事報告

幹事 近藤 賢司

- ロータリー理解推進月間 -

### 1. 本日の卓話

『別府に生れ、別府に生きる』 鳴海淳郎会員



2. 本日のゲスト  
ドプロボリスカヤ・アンナさん(米山奨学生)
3. 第7回定例理事・役員会報告  
(平成19年1月9日(火))18:00~  
於: 割烹旅館ゆめさき)

**審議事項**

- 1) 2006-2007年度後期納入金及び立替金徴収の件。(1月10日付)\*承認
- 2) 2007-2008年度理事会: 理事3名及びSAA選出の件。\*承認  
12月12日「年次総会」時に、1月の理事会で残りの理事・SAAを選出すると会員の皆さんに呼びかけ済み

理事	森 宗明	会長	森 宗明
"	村津 忠久	副会長	平野 英壽
"	津末美代子	幹事	大島由美子
"	後藤 隆	会計	近藤 賢司
"	椋田 健治		上妻 浩
"	河村 貴雄	直前会長	上妻 浩
"	後藤 孝弘	副幹事	葉真寺章三

- 3) 「クラブフォーラム」の件。\*承認  
日時 平成19年1月30日(火) 12:30~  
場所 トキハ別府店例会場  
内容

- 4) 1月・2月例会予定の確認  
1月2日「法定休日」  
9日「新年家族会」  
於: 割烹旅館ゆめさき 18:30~  
16日「会員卓話」鳴海淳郎会員  
23日「会員卓話」後藤 隆会員  
30日「クラブフォーラム」  
2月6日「会員卓話」平野英壽会員  
13日「会員卓話」大島由美子会員  
20日「会員卓話」高田由子会員  
27日「第3回クラブ協議会」

- 5) その他  
「別府近隣7RC親睦ソフトボール大会」  
余剰金の件。\*ユニフォームを購入。  
・136,550円を親睦委員会費に振り替え、  
クラブ控えのユニフォーム代に充てます。  
不足分は親睦委員会費より拠出。  
“クラブ所有のユニフォーム(今現在事務局に保管しているもの)”

種類	サイズ	数量	種類	サイズ	数量
シャツ	XL	2	キャップ	58cm	1
パンツ	XL	2	ベルト		3
アンダーシャツ	XL	2	ソックス	25-27cm	2

“貸出中”  
赤嶺リサ会員 ユニフォーム一式  
高田由子会員 ユニフォーム一式

4. お祝い  
会員誕生日 森 宗明会員(1月16日)  
\*記念品をお渡し致します。  
宮勝美会員(1月18日)  
\*ご自宅にワインが届きます。

5. 例会変更のお知らせ  
くにさきRC 1月17日(水)の例会は、新年家族例会の為 同日18:30~割烹志まるに時間・場所変更  
大分城西RC 1月24日(水)の例会は、新年例会の為 同日18:30~大分ワシントンホテルプラザに時間・場所変更  
大分城西RC 1月31日(水)の例会は、職場例会の為 同日12:30~護国神社に場所変更

6. 次週の予定 (\*原稿をお願い致します。)  
「会員卓話」 後藤 隆会員  
「会員コラム」 森 宗明会員

7. 本日の回覧  
中津中央RC、宇佐RC、くにさきRC、豊後高田RC、日出RC、佐伯RC、竹田RC  
週報  
大分合同福祉事業団より「歳末助け合い募金」お礼

8. 本日の配布  
週報848号、849号  
「ロータリーの広報と私」鳴海淳郎R情報委員長より  
ロータリーの友 1月号  
ガバナー月信 6

**スマイルボックス 委員長 後藤 孝弘**

上妻会員  
先週の新年会、大変楽しかったですね。  
ご協力ありがとうございました。

近藤会員  
先週の新年会は大盛り上がりで親睦委員会の方々は大変お疲れ様でした。先週のスマイルボックスで前事務局員の寺山さんが「近藤幹事!!飲んで忘れ物をしなように!!」と釘をさされたにもかかわらず、またまたプレゼント交換でいただいた大事な物をゆめさきにそのまま忘れてきてしまいました。次の日には必ず反省をしますが、反省なら猿でもできると後藤隆さんに言われるのではないかと、小さくなっています。

村津会員  
私のお腹の皮の補強工事は、53年ぶりの入院手術で無事終了、今朝、手術部分の抜糸を致しました。感謝してスマイル  
森会員

明けましてお目出とうございます。  
・9日の新年会は東京出張のため欠席して申し

訳ありません。

・本日53歳の誕生日です。今年も頑張ります。  
3日には2人目の孫も出来ます。ありがたいことでもあります。

薬師寺会員

先週の新年会、おつかれさまでした。

特に近藤幹事、河村会員の和服姿、OK！お2人とも「ハジケテ」大変楽しく、貴重な時間をすごさせて頂きました。

亀井会員

初夢を見ました。

なんと、アメリカの大統領になって、「聖戦」という名のもとに、世界中で戦争をしていました。その結末は...で目が覚めました。

又、来年の初夢まで...

赤嶺会員

先日の新年会は、大変ありがとうございました。

又、新年のごあいさつを申し上げてない皆様、明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

ゲストのアンナさんようこそいらっしやいました。

鳴海先生1日のお誕生日8と1歳本当におめでとうございます。

今日は卓話楽しみにしています。頑張ってください。

後藤(隆)会員

先日の「ゆめさき」での新年会で仲居さんから職業を聞かれたので「なんだと思う？」と問いましたところ「いかがわしい仕事でしょ？」と言われました。

もう「ゆめさき」には行きません!!

高田会員

先日の新年会楽しかったです。

今日は鳴海先生の卓話楽しみにしています。

高宮会員

誕生祝いありがとう。

後藤(孝)会員

スマイルボックス、平年度の後半頑張ります。

卓話

鳴海 淳郎

別府に生まれ 別府に生きる

わたしは大正15年1月1日この別府市に生れましたので、この正月で81歳を迎えました。また、皮膚科医になって既に50年が過ぎ、郷里・別府に帰って開業39年目になります。

この間、温泉と皮膚、スキンケアの第一歩である皮膚の清浄、とくに入浴の問題は、温泉地・別府に住む人にとっては切実な問題であり、常にわたしの脳裏から離れられない問題でした。

そのきっかけは、久しぶりに郷里・別府に帰り、徳川中期以降湧き出ている由緒ある自宅の温

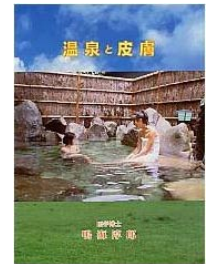
泉に入るようになって、たまたま冬という季節も手伝ってか、肌が荒れてきたことが非常に気になりました。

わたしの家は1803年以來回船問屋(屋号・菓子安、代々・菓子屋安兵衛を名乗る)をしていましたが、明治維新以後は菓子安という温泉宿をしていました。その先代が、医者、それも皮膚科医となったわたしに『温泉と皮膚』というテーマを授けて呉れたものと思えてなりません。

§ 温泉と皮膚

1. 温泉と皮膚に関する開業後の実績

- ・1969年1月：別府に帰省して診療開始
- ・1972年：第1回入浴調査
- ・1976年：第2回入浴調査
- ・1990年：第3回入浴調査
- ・2001年1月：「JN全身シャンプー」をつくる
- ・2001年7月：小著「温泉と皮膚」発行



2. 入浴調査について

過去3回にわたり、当クリニックの患者さんを中心に入浴調査を行いました。

\*入浴状況

	昭和47年	昭和51年	平成2年
温泉	860人	755人	785人
わかし湯	88.6%	61.5%	56.8%
両方	11.3%	38.0%	40.4%
その他	0.1%	0.5%	2.8%

\*入浴の頻度

	昭和47年	昭和51年
1日3回	860人	755人
1日2回	0.2%	-
毎日1回	7.7%	2.1%
2日1回	77.0%	84.1%
3日1回	12.1%	10.9%
1週1回	2.4%	1.5%
その他	0.6%	0.4%
その他	-	1.0%

\*温泉入浴頻度と皮膚の状態

	入浴者数		かさかさしてかゆがる人の割合	
	47年	51年	47年	51年
1日3回	222人	464人	-	-
1日2回	2人	-	50.0%	-
毎日1回	28人	10人	42.8%	70.0%
2日1回	161人	395人	14.2%	10.6%
3日1回	25人	43人	24.0%	7.0%
1週1回	4人	7人	0%	14.3%
その他	2人	4人	50.0%	25.0%
その他	-	5人	-	-



### 3. 入浴調査のまとめ

- ・入浴状況：3回の入浴調査の結果、これは少し気になる場所ですが、温泉に入る人が少なくなる傾向にあることが伺われます。
- ・入浴の頻度：毎日1回入浴する人が一番多く、2日に1回がこれに次ぎ、1日に2～3回入浴する人がいるかと思えば、3日に1回、更に1週に1回しか入浴しない人がいるということがわかりました。
- ・温泉入浴頻度と皮膚の状態：1日2回以上入浴するとかゆみを訴える人が多く、反対にあまり入浴しないと、かゆみを訴えやすくなるということがわかりました。
- ・ナイロンタオル使用状況：ナイロンタオルを使用している人は1000人中246人で、その中の26人（10.6%）が色素沈着をきたしていることがわかりました。
- ・水虫の発生状況：1000人中185人が水虫にかかっており、趾間をよく洗う人の方が水虫の発生率が低いということがわかりました。

### 4. 温泉と洗剤

#### ・温泉と普通の石けん

温泉で普通の石けんを使うと皮膚が荒れて痒くなるがありますが、硬度の強い温泉ほどこれは一層強くなります。

一般に硬水で石けんを使うと、カルシウム、マグネシウム、鉄、アルミニウムなどの塩類が石けんの脂肪酸基と結合して、水に溶けない金属石けん（俗に「浮きかす」という）をつくり、これが脂の取り除かれた皮膚を刺激することになります。

#### ・中性洗剤の発展

そこで、この欠点をなくすために、中性洗剤が使われるようになったのですが、

#### ・従来の中性洗剤の欠点

温泉で使っても石けんのような刺激はありませんが、「あか」や「よごれ」と共に角層中の脂肪分まで洗い落としてしまう欠点があります。しかも公害を残すことが欠点です。

#### ・理想的なシャンプーをつくる

これは界面活性剤の配合に問題があり、一つのアニオン界面活性剤を配合した従来のシャンプーを改めて、一つのアニオン界面活性剤だけではなく、他のアニオン界面活性剤や両性界面活性剤をバランスよく配合すると、前述のような欠点がなくなり、東京の研究所に依頼して理想的なシャンプーをつくるのが出来ました。（2000年1月）

#### ・ジェイ・エヌ 全身シャンプーの特徴

温泉での使用に最適で、アトピーの人も安心して使える、これまでにない理想的な全身シャンプーです。

1. 『あか』や『よごれ』は取りますが、皮膚の脂を取りすぎることなく、しっかりと皮膚を保護します。
2. 温泉で普通の石鹸を使うと、硬水の成分と反応して皮膚を荒らすので皮膚病を治り難しくしますが、このシャンプーではそのようなことは起こりません。
3. 普通の中性洗剤と違って、泡が分解しやすいために公害を残さず、環境にやさしいシャンプーです。



### § ロータリーと私

ロータリー入会して36年・・・

この間わたしの心を捉えたものは

ロータリーの奉仕は“Thoughtfulness of and helpfulness to others”『思いやりの心をもって他人のために尽くすこと』及び、“He Pro ts Most Who Serves Best”『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』ということです。

“Thoughtfulness of and helpfulness to others”『思いやりの心をもって他人のために尽くすこと』

この場合、上記原文の Thoughtfulness of and helpfulness to othersにおける othersの意味を広げ、ロータリーにおける思いやりの心は、ただ単に人に対してだけでなく、まわりの環境に対しても向けられるべきであると思っています。（これはわたしが10年以上前からとくに強調していることです）

“He Pro ts Most Who Serves Best”『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる』

そこで、「最もよく奉仕をする者、最も多く報いられる」の中の「最もよい奉仕」とは具体的にはどういうことなのか、“Nothing but the best”の奉仕を考えてみたいと思います。つまり、

- ・製造業の場合は「これ以上の良いものはつukれない」という気持ちで、
- ・サービス業の場合は「これ以上のサービスはできない」という気持ちで努力すること、
- ・医師の場合は「患者さんのために現時点で最善の医療を施す」よう努力することであると思っています。

この2つの言葉は、ロータリーの心を自分の職業に生かすために心がけている私の好きな言葉ですが、地域のために何か良いこと、新しいことが出来ないか、常に新しい夢をえがきながら毎日の仕事にベストを尽くす努力をしております。

その結果として世間の信用が得られ、これがいわゆるPro ts（利得）につながり、ひいては地域の活性化に役立つのではないかと思う次第です。





§ とくにロータリー・クラブに入会後の活動

1. 別府中央ロータリー・クラブが創立以来取り組んでいる「もみじ谷植樹」の意義

1) 別府もみじ谷は阿蘇くじゅう国立公園の入口に位置する広さ約30ヘクタールの谷で、別府市内を流れる朝見川の源流地域であり、大切な温泉の水源でもあります。

それ故、モミジの植樹によるこの谷の環境保全は、温泉都市別府の生命線に関わる大切な必須事業と言えます。

2) また、この谷を北側から俯瞰する形で湯布院方面へ行く(別府～一宮)道路が走っていますが、将来この30ヘクタールの谷全体がモミジで覆われた時、その景観は日本随一のものになると思われます。

2. 少年少女のための「油屋熊八物語」をクラブ創立10周年記念行事の一つとして発行

21世紀は「こころ」の時代とされていますが、今日ほど「他人のことを思い、他人のために尽くす」というロータリーの心が必要なきはありません。

別府観光の父・油屋熊八翁の心を現代の子ども達にも伝え、子どもの感性に訴えて、子どもに夢と感動を与え、別府の未来を築く人づくりに、いささかなりともお役に立つことができれば幸いです。

3. 「ロータリー物語」の発行

ロータリーを一般の人にも分かりやすく伝えるために、2000年1月のロータリー理解推進月間を記念して「ロータリー物語」を出版、ついで当クラブの創立15周年を記念し、ロータリー創立100周年を前にその改訂版を出版しました。(2004年3月)

4. ロータリーの友(ロータリー機関誌)への投稿

1992年2月号: 温もりの中へ 別府

2000年9月号: 新しき音の泉にわく別府 - 世界に向けての別府アルゲリッチ音楽祭

5. ロータリーのスポークス・パーソンとして

2001年8月以来、ホームページ“ロータリー探究”でロータリーに関することを出来るだけ分かりやすく伝えるために毎週更新してきましたが、この正月で270回になりました。

6. Nothing but the best の皮膚科医療を夢みて

また、同時にこのホームページの“クリニック・レポート”で皮膚並びに皮膚病に関する啓蒙につとめる一方、1974年以降液体窒素による凍結療法をはじめとして、1993年には低反応レベルレーザー療法を、2000年6月からは大分県でははじ

めてQスイッチ・ルビーレーザー治療器を導入して新しい「あざ」の治療をはじめました。

その他、アレルギーの治療、とくにアトピー性皮膚炎の治療に関しましては、ほぼ完璧の域まで自信を持つことができ、「にきび」の治療については、誰にも負けない自身を培うことが出来ました。

そして、これらはすべて別府よりの発信で、最近ホームページをみて、市外、及び県外から来院する患者さんが目立つようになりました。

§ 別府市の将来について考える

別府は美しい海あり、山あり、それに加えて日本一の温泉もあり、観光立市のすばらしさを備えています。これが別府市における偉大な3大資産であります。

これは他に類をみないかけがえのないもので、この天与の資産を守り、これを別府のトレードマークとして今後の発展に生かすことが、わたしたち別府市民の使命です。

別府市の3大資源を生かした諸施策

宮崎交通の創始者で「宮崎観光の父」と呼ばれた故岩切章太郎氏は数々の名言を残されたかたですが、氏の言う「良い観光地」に必要な、自然の美と、人工の美と、人情の美という三つの美をこころとして、別府市の3大資源を生かした諸施策を講ずることが必要と思われま。

とくに、このイラストに示されるように、湯けむりは別府温泉のシンボルです。湯けむりが立ち上がる光景は温泉地ならではの情緒にあふれています。

油屋熊八が大阪商船で別府に着き、小船に乗りかえて船だまりに上がった時、蒼い鶴見岳、湯煙たなびく町、紺碧の澄んだ海に唸ったと言います。そして山と海と温泉の町・別府は今後観光客の心を大いにひきつけることになるだろうと思ったと言われています。

恵まれた海・山の自然の景観に加えて、別府市内約50平方kmにわたり、3000に近い泉源より



(イラスト: 別府市観光課提供)



1日に約13万klもの温泉が昼夜の別なくこんこんと湧き出し、これが周囲の環境と相俟って湯けむりとしての風情を添えています。別府がいかに発展しようとも、このかけがいのない「湯けむり」を失ってはなりません。

## 1. 温泉を生かしたプロジェクト

### 別府が誇るべき温泉研究の歴史と今後の問題

- ・京都大学物理学付属地球熱学研究施設・・・大正12年12月に開設。一般物理学研究のほか、火山、地熱、温泉に関する研究と教育を目的としています。
- ・九州大学病院別府先進医療センター・・・昭和6年に温泉治療学研究所として建設され、内科ではリウマチ、膠原病の温泉治療施設として研究が続けられてきました。  
現在ではリハビリなどにも温泉を活用しています。
- ・原子爆弾被爆者別府温泉療養研究所（別府原爆センター）・・・原爆被爆者が温泉療養により心の安らぎが得られ、健康保持・増進を図るために設けられたものです。
- ・大分県温泉熱花き研究指導センター・・・温泉熱を利用した温室で様々な花の品質改良や生花の生産、研究を行なわれています。

わが国における温泉医療の研究は、世界に冠たるものがあり、これと平行して温泉保養地としての別府は非常に有名でした。ところが、九大温泉治療学研究所が廃止され、現在の九州大学生体防御医学研究所に変わってからは昔日の感なく、心寂しく思っている昨今ですが、どうか昔のように活発でありたいものです。

### 温泉資源の多角的な活用について

温泉の健康への活用方法については、上記以外、予防医学・療養リハビリ・老化防止など、様々な活用が開発されていますが、「人々が心身ともに健康でいられるように支援するサービス業」としてのウェルネス産業を育成され、健康保養温泉地としての中心的役割を果たすことが望まれています。具体的には、医療機関との連携による健康診断プログラムの開発や、温泉泥を活用したエステ「ファンゴティカ」の商品化など、色々考えられますが、そのためには医療・公衆衛生機関との連携による「温泉医療の学術的実証」の推進が別府市におけるONSENツーリズムの基本戦略の一つの柱と謳われています。「以上、別府観光推進戦略会議（平成16年9月）の別府観光推進策に関する提言書より」

## 2. 山を生かしたプロジェクト

毎年4月の第2日曜日に実施される「つるみ岳一気登山」もいよいよ今年で20回目を迎えますが、別府の山を生かした観光プロジェクトとして既に全国的な名物となっています。

なお、これに連動して行なわれている前述の「もみじ谷植樹」は、更なる活動の進展を図るため、この度「特定非営利活動法人別府もみじ谷トラスト機構」を設立して実施されることになりました。これは、他に類例をみないプロジェクトで、かけがえのない天与の資産を守り、これを別府のトレードマークとして今後の発展のために生かすことは勿論のこと、環境保全に極めて重大な意義を見出すものとして注目に値するものであります。

## 3. 海を生かしたプロジェクトを考える

これに反して、海を生かした観光プロジェクトにはまだ見るべきものがなく、今後の課題として注目されているところです。

ところで、別府の海からの眺めの素晴らしさは世界に冠たるもので、昔から東洋のナポリと称されています。

このような素晴らしい自然環境に恵まれた別府ですが、今の別府の海岸線は、殆どどの海辺にコンクリートの護岸や消波ブロックが並び、実に殺風景な感じを与えています。

この海岸線を美しく快適な海岸線に蘇らせるために、九州では久しぶりの国による海岸保全施設整備事業と、県による新港湾計画が平成13年度から23年までの11ヵ年事業として始まっています。（国は、平成13年度に直轄事業として、総事業費162億円にのぼる事業実施を決定しました。）

そして、この一連の事業として、ヨットハーバーの拡張と、アリーナ機能の充実による海上レクリエーション基地をつくるべく事業が進められていますが、貴重な風景を世界中の人々に満喫して貰うよう別府の海洋レクリエーション基地を拡充することは、将来の別府にとって不可欠のことと思われます。

ヨットや高速艇などによる海上レジャーを更に大衆化して、別府に海のレジャー施設をつくることは、北浜のホテル旅館ならびに温泉施設と相俟って、内外からの観光客誘致に大いに役立つものと思われます。

別府の将来を考えるにあたっては、もっとスケールを大きく、グローバルな考え方に立って世界の別府にすることが必要ではないかと、最後に申し述べたいと思います。

別府に生れたからには

将来の別府を夢見て

別府を世界の別府に